

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成26年11月27日 (2014.11.27)

【公表番号】特表2014-501634(P2014-501634A)

【公表日】平成26年1月23日 (2014.1.23)

【年通号数】公開・登録公報2014-004

【出願番号】特願2013-534037(P2013-534037)

【国際特許分類】

B 3 2 B 15/09 (2006.01)

C 0 9 D 167/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 167/02 (2006.01)

C 0 9 D 133/14 (2006.01)

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

B 6 5 D 25/34 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 15/08 1 0 4 A

C 0 9 D 167/00

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 167/02

C 0 9 D 133/14

B 3 2 B 27/36

B 0 5 D 7/24 3 0 2 V

B 6 5 D 25/34 C

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月10日 (2014.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

金属基材を有する食品容器若しくは飲料容器、又はその一部と、前記金属基材の少なくとも一部に塗布されたコーティング組成物とを含む物品であって、前記コーティング組成物がコポリエステル樹脂と架橋剤とを含み、当該コポリエステル樹脂が、

10 ~ 50 のガラス転移温度を示し、かつ交互のハードセグメントとソフトセグメントとからなる非ランダム分布を含む主鎖を有するコポリエステル樹脂であって、ここで、ハードセグメントは環状基含有ポリエステルオリゴマー若しくはポリマーにより与えられ、ソフトセグメントは脂肪族反応物により与えられる、

前記物品。

【請求項 2】

前記コポリエステル樹脂が、15 ~ 35 のガラス転移温度を示す、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記ポリエステルオリゴマー又はポリマーが、少なくとも約 500 の数平均分子量を有する、請求項 1 または 2 に記載の物品。

【請求項 4】

前記脂肪族反応物が、アジピン酸、アゼライン酸、脂肪酸系二酸、セバシン酸、コハク酸、グルタル酸、又はこれらの誘導体若しくは混合物を含む、請求項 1～3 のいずれかに記載の物品。

【請求項 5】

前記コポリエステル樹脂が、ヒドロキシル官能性ポリエステルオリゴマー又はポリマー、及び二酸又は二酸等価物を含む反応物の反応生成物であり、ポリエステルオリゴマー又はポリマーと二酸又は二酸等価物との重量比が 8 : 1 ~ 20 : 1 である、請求項 1～4 のいずれかに記載の物品。

【請求項 6】

前記コーティング組成物が、全樹脂固形物を基準に、少なくとも 60 重量%のコポリエステル樹脂、および 2 重量% ~ 20 重量%のアクリレートコポリマーを含み、前記アクリレートコポリマーが 1 個以上のグリシジル基を含む請求項 1～5 のいずれかに記載の物品。

【請求項 7】

前記コーティング組成物が、結合されたビスフェノール A 及び芳香族グリシジルエーテル化合物を実質的に含有せず、前記物品が、前記缶端部の少なくとも一部に塗布されたコーティング組成物を有する飲料用缶のリベット端部を含む、請求項 1～6 のいずれかに記載の物品。

【請求項 8】

全樹脂固形物を基準に、少なくとも 60 重量%のコポリエステル樹脂と、架橋剤とを含むコーティング組成物であって、当該コポリエステル樹脂は、

10 ~ 50 のガラス転移温度を示し、かつ交互のハードセグメントとソフトセグメントを含み、ここで、該コポリエステル樹脂は、

10 ~ 100 のガラス転移温度を示すポリエステルオリゴマー又はポリマーと二酸又は二酸等価物と

を含む成分からなる反応生成物であり、前記ソフトセグメントが該二酸又二酸等価物により与えられ、

前記コーティング組成物は、適切に硬化された場合、食品と接触する包装用コーティングとして使用するのに適している、

前記コーティング組成物。

【請求項 9】

前記コーティング組成物が、乾燥被覆厚さ 7 ミリグラム / 平方インチ (1 . 09 mg / cm²) で飲料用缶のリベット端部上に存在する場合、水に溶解した 1 重量%の NaCl を含有する室温の電解質溶液に 4 秒間暴露された後、1 ミリアンペア未満の電流を通す、請求項 8 に記載のコーティング組成物。